

柏市長 秋山 浩保 様

平成 28 年 2 月 26 日

柏市広報 2 月 15 日号の「市長室だより」の訂正を求める要請書

環境とエネルギー・柏の会

代表 座間 愛

柏市

「柏市広報 2 月 15 日号の市長室だより」に関し、おかしいと受け止めざるを得ない以下の 3 箇所について訂正を要請致します。

なお、お忙しい時期とは思われますが、3 月末日までに、この要請書に対するご返答を当会代表の座間あてに文書でお願い致します。

〈 〉内は市長室だよりからの抜粋

1, 〈市民の皆さんのご協力のもとで除染活動を行った結果、市内の平均的な放射線量は原発事故以前に市内の観測場所で計測されていた自然放射線量の範囲内に戻りました。〉

柏市の除染活動は、子どもたちが多く集まる学校、保育園、幼稚園、市立の公共施設、通学道路だけです。個人の所有地や山林はほとんど除染されていません。また、「観測地点の計測値が下がった」ということによって、市民が日常的に暮らす生活圏が福島第一原発事故以前（以下事故以前）の放射線量に戻ったという誤解を与えかねません。事故以前の放射線量も書かれていません。一例ですが、事故以前の柏市立旭小学校校庭グラウンドを「はかるくん」で測った放射線量が $0.02\sim 0.03\ \mu\text{Sv/h}$ という記録もあります。

わたし達が市内の多くの場所を計測した結果、地上 1 m で $0.1\ \mu\text{Sv/h}$ を越す地点はいまだに数多くみられます。とても、事故以前の放射線量に戻ったとは言えないのではないでしょうか。

2, 〈甲状腺の専門病院での二次検査を勧められたかたもありますが、それは放射能の影響が疑われる疾患が発見されたということでは ありません。同様の検査を先行して実施している福島県においても、検査結果は「放射線の影響とは考えにくい」との見解が示されています。〉

福島県のどの組織の見解か書かれていませんが、様々な組織が見解を述べています。柏市は、いろいろな見解を照査して判断して下さい。昨年 3 月の福島県「県民健康調査検討委員会甲状腺検査評価部会」の「甲状腺検査に関する中間とりまとめ」、同評価部会 1 1 月の記者会見では小児甲状腺がんの